



本事業に参加する8人の高校生と山添町長

●アベリスツイス高校生派遣事業

8人の生徒が 英国アベリスツイスへ

8月25日、英国アベリスツイスへの派遣に向けて結団式を開催しました。高校生たちは、11月にそれぞれの思いを胸にアベリスツイスへ赴きホストファミリーと交流するほか、歴史や文化、産業などに触れる予定です。

12日間の日程で訪問

平成4年から始まったアベリスツイスとの高校生の相互派遣。これまで75人が赴きホストファミリーと交流するなど、貴重な体験をしてきました。今年は、8人の高校生が事前研修を経て、11月6日から12日間の日程でアベリスツイスへ飛び立ちます。

結団式では、高校生たちは「過去にあった出来事やアベリスツイスの魅力や伝えるなど、友好の懸け橋になりたい」「将来、外国で働きたいので、自分の英語力を試したい」など、派遣への意気込みを発表。また、訪問団長を務める山添町長は「個々の思いを大切にしながらも、これまで双方が築いてきた友好の歴史を理解してほしい。また、地元を知り、自分の言葉で伝えることが国際交流の第一歩になる」と、高校生たちにメッセージを送りました。

よさの未来大学

YOSANO MIRAI UNIVERSITY

— 講座開校レポートをお届けします —

☎ 企画財政課 ☎ 43-9015



よさの未来大学ページでは、講座開講レポートの詳細や今後の講座状況などを掲載しています。

8月26日、生涯学習センター知遊館において、一般財団法人明石コミュニティ創造協会の宮内龍太郎氏を講師に迎え、「多様な人材が輝く地域づくり講座」まちで活動する町民を育む方法を考える」を開催し、20人を超える方が受講されました。

宮内氏は、兵庫県明石市での事



講座の様子

例をもとに、これからの地域づくりのあり方から多様な人材を巻き込んだ地域づくりの進め方について、地域と行政の間で活動する実践者ならではの視点で解説。また、参加者同志でグループワークを実施し、地域課題や講義内容から取り入れたことなどを共有しました。受講した方からは「区の運営に参考になった」「いろいろな立場の方との対話ができ新鮮な気持ち」「他の地区の方の話や声に触れることができたのは良かった」との感想があり、講座による学びのみならず、対話による参加者同士の新たな気づきの機会にもなりました。

町長との対話授業 大好きな 与謝野町が より魅力的に なるために

☎ 総務課 ☎ 43-9010

今回で16回目となる「町長との対話授業（以下、「対話授業」）」を、8月25日に宮津天橋高校加悦谷学舎で行いました。

今年度は、生徒中心の企画運営に加え、一般社団法人経営実践研究会のメンバーと京都工芸繊維大学・同志社大学の学生から構成される「与謝野町冒険の書作成委員会（以下、「委員会」）」の協力を得て、山添町長に政策提言する方式で実施。4人の生徒は、町の現状と課題について学習した後、3カ月にわたり提言書のまとめ方やプレゼンテーションの方法などを委員会から学び、「発展・変化していく与謝野町と、今、自分たちができること」と題して、山添町長に政策提言を行いました。



山添町長にプレゼンテーションをする生徒（右）

提言1 町内の公園を誰もが もっと楽しめる場に

阿蘇シーサイドパークの池を復活させることで多くの家族連れなどが訪れるようになり、地域の人々が仲良くなれるスポットになる。わたしには障害を持った妹がいるが、水の感覚やキラキラと光る様子が好きで、池を通じてさまざまな人たちと交流する場が生まれている。多くの人たちの思い出に残る場所になってほしい。

提言2 ストレスフリーな 与謝野町をつくるために

多くの人たちが仕事・学業・育

児などでストレスに悩んでいる現状がある。与謝野町は、地域のおじいちゃん・おばあちゃんが優しく、話を聞いてくれる場所があれば、ストレス解消につながると思う。交流できるスペースや施設を設置し、与謝野町の魅力を最大限にいかしてストレス解消の町にしたい。

提言3 SNSを活用した 与謝野町の魅力発信

人口減少が進んでいる状況があ

り、与謝野町の魅力を知ってもらうために、フォトコンテストを開催したい。また、与謝野町には公式SNSを活用してPRしてほしい。それにより、与謝野町の良さが知れ渡ること、移住・定住につながり、町が元気になっていく。

提言4 与謝野町で 若者が輝くために

与謝野町には才能を持った方がたくさんいるが、それを発揮できる場所や機会が少ない。町ホームページに募集サイトの開設や町役場に「若者応援課」の設置を提案したい。それにより、若者が自己肯定感を高められ、積極性のある若者の育成につながる。若い人たちが自分の能力を発揮できるように、町全体でサポートしてほしい。



後半は生徒と町長で意見交換を行いました

政策提言後、意見交換を行い山添町長から「今回の対話授業を通じて感じた町の魅力を今後も大切にしてほしい」と生徒たちにメッセージを送り、生徒たちは「いつかまたきつと大好きな与謝野町に戻ってきたい」と、充実した表情で話してくれました。